

桜真

NO.52

2021(令和3)年7月20日発行
岩瀬日本大学高等学校
<https://www.tng.ac.jp/iwase/>
父母と教師の会
〒309-1453
茨城県桜川市友部1739
TEL 0296-75-2242
FAX 0296-75-4905



2021桜瑛祭

優勝

2年5組



ICTの可能性と丁寧に仕上げた
展示物の魅力を存分に発揮して
感動を与えました



率直に、優勝することができうれしく思います。また、生徒たちには感謝しています。クラスとしては、コロナ禍で暗く変わってしまった今だからこそ、明るい未来を作るためにICT機器を活かして何かできないかと話し合ってきました。5組は、日本の絶景スポットを模造紙と動画でまとめたり、富士山や江ノ島シーキャンドルを生徒たちの写真を用いてモザイクアートで表現したり、クロマキー合成を用いて景色の中に人が入るように合成し、写真撮影ブースを作りました。また、AR(拡張現実)を用いて、スマートフォンからQRコードを読み取ることにより、様々な景色や季節感を表現しました。この展示を見て、少しでも明るく前向きになってほしいという5組からのメッセージです。

担任 住谷 司

準優勝

3年6組

「コロナに負けるな！ 感染症に立ち向かう人類」

一生懸命！桜瑛祭初の3年生展示発表！

担任 長田 光司

これまでの桜瑛祭において3年生は飲食店を行っていました。今年がコロナ禍のため、桜瑛祭初となる3年生による展示発表を行いました。

現在クラスでは各自がワンランク上の国公立大学・難関私立大学合格を目指して、平日5時間、休日10時間以上の学習に取り組んでおり、そのような中で学習と桜瑛祭を両立するにはどうすればいいかを考えた結果、準備は桜瑛祭前日を除いて平日1時間のみ、内容は、コロナ禍を生き抜き乗り越えるための力になればとの思いを込めて、感染症と闘ってきた人類の歴史と今について調べ、大学受験にも生かせるポスター発表形式の展示としました。

生徒たちは16人全員で協力し、限られた時間を最大限利用し、受験勉強と並行して準備、発表を行いました。その姿は「一生懸命」そのものでした。以下生徒の感想の一部を紹介します。「模造紙が今までで一番の仕上がりになった」

「プレゼンは原稿丸暗記ではなく、相

手に伝えるということを重視した」

「計画性、要約、プレゼン、今回の桜瑛祭で自分が磨けた力だと思う」

「クラスメイトからの声かけにたくさん励まされた」

「この2位は、受験勉強をしながらも受賞できたすごい賞なのだと思いきや、今回の桜瑛祭で身につけたことを活かして受験勉強に本腰を入れて取り組みたいです」

次は、ワンランク上の大学に合格という大学受験での「優勝」目指して、生徒たちとさらに一生懸命頑張ります。



準優勝

2年7組

宇宙一受けたい授業 2の7特別編！音楽！

みんなの力がひとつになって

担任 大塚友美子

桜瑛祭のテーマに合わせ、クラスの出演テーマは「宇宙一受けたい授業2の7特別編！音楽！」と決まりました。「コロナ禍で元気が出ないとき、あなたはどうな音楽を聴きましたか？宇宙一受けたい授業開催決定！あなたを知らせざる音楽の世界へ！」という内容でデジタルパンフレットに紹介しました。

昨年は、桜瑛祭を実施できず、2年生ながら今年が高校生活初めての文化祭です。やっと学校に通い始めた昨年の今頃を思い出すと、順調に桜瑛祭が実施できることがとても幸せだと感じました。

生徒たちは、さまざまな企画を募ったり、作業計画を立てたり、画像を共有したり、これらを全て各自のICT機器を使って行いました。さすが、日頃ICTの利活用に長けた生徒たちなので、その技術は目を見張るものがありました。試行錯誤を繰り返し、意見をぶつけ合い、困ったときには励まし合い、得意分野は率先して、苦手分野は補い合いながら、クラス全体がひとつに

なるこの行事は「高校生活で最高の瞬間！」と言えるのではないのでしょうか。

最後に、生徒の感想をご紹介します。

「去年は文化祭が中止になり、高校生活初めての文化祭だった。制限も多く、先生方や生徒会役員の人が考えて、努力して開催出来たことに感謝したい。予定通りに進まず、50分間で発表の仕方を工夫したり、他のクラスと自分たちのクラスを比較したり、臨機応変な対応やより良いものにする努力が身に付く文化祭だと感じた。明日(2日目)は今日(1日目)より良いものにする！」



3位

1年6組

Welcome to the
dream world

桜瑛祭を終えて

担任 木上 由季

コロナ禍で友人達と出かける機会も
少なくなり、閉塞感が漂っている今、
クラスを訪れてくれた人たちに少しで
も楽しい雰囲気味わってもらいた
い、という願いからデイズニーをテ
マにした展示を行いました。入学から
約3ヶ月、桜瑛祭のイメージも十分描
けない状況の中で、クラスの生徒たち
は試行錯誤しながらも、本当によく頑
張ってくれました。

「だんだん日にちが進んでいくと完
成に間に合うのか不安だった。大まか
にやることを決めるのではなく、誰が
何をやるのか明確に決めたほうが効率
よくできることに気付いた。」

「元気に笑顔で話しかければ、誰も
嫌な思いをしないで話せることが分
かった」

「中学生の時にはみんなで何かを完
成させるようなことはなかったが、初
めてみんなで協力してシンデレラ城を
作り、大変だったけれど、完成したと
きはとっても嬉しかった。」

「クラスのみんながすごく自分から



発言したり、行動してくれたりしたの
で話が進むのが早かったし、それぞ
れ持っている知識をたくさん使えて良
かった。」

今回の桜瑛祭を通して、計画を立て
て実行することの難しさ、協力するこ
との大切さや達成感をクラス全体で感
じることができました。



4位

3年3組

The Haunted Classroom

一致団結

担任 柴田 美岐

6月19日、「アいつだって今が最高」
と思えるような2日間になりました。
クラスの一致団結を呼びかけました。
その言葉通り、31人全員が協力し合い、
クタクタになりながらも「楽しかつ
た！」と言えた2日間となりました。

思い返せば、クラス企画が決まったの
は、文化祭の約1ヶ月前のこと。今年
度は3年生の模擬店が中止となってい
まい、クラスには残念なムードが漂う
中の話し合いでした。「模擬店ができ
なくとも、クラス全員で『達成感』を
味わいたい！」という担任の思いを伝
え、生徒から出ていた「お化け屋敷」
という案に、1年生の時に作った台車
を残してあったことから「ジェット
コースター」も提案したところ、「そ
れで行こう!!」と方向性が固まりました。
本格的に準備を開始したのは、1
週間前からで、かなりスロースタート
となりました。ジェットコースターは
1年生の時にも経験した男子や、放課
後に積極的に残ってくれた男子を中心
に、急ピッチで製作。また、お化け屋

敷は女子がコースの構想を練り、どん
どんアイデアを出し合い、具現化し
てくれました。担任は資材の買い出し
と最終的な安全確認をしたのみ。12日
の準備開始から20日の後片付けまで
「さすが3年生！」と思える9日間で
した。実施できなかった昨年分まで
楽しむことができた桜瑛祭となりまし
た。柴田組31人ならびに協力してくだ
さった保護者の皆様に感謝です。



就任のご挨拶



校長 吉田邦孝

2021年度、学校長を拝命いたしました、吉田邦孝です。

192名の新入生を迎え、計570名の全校生徒に囲まれながら、スタートできたことを大変うれしく思います。一方、コロナ感染症の感染拡大は一進一退の状況にあり、入学式を始め父母と教師の会總會等においても、多くの保護者の皆様にご挨拶できず、大変申し訳なく感じております。生徒の皆さんにも、2020年度に引き続き、学校行事をはじめ、何かと制約や我慢をお願いすることが多い状態が続いております。

しかしながら、そのような中でも、桜球祭を実施したり、部活動に精力的に取り組む生徒の笑顔や真剣なまなざしを見るのが少しずつですが増えてきたりしております。

コロナ感染症感染拡大もあり、社会が大きく変化してくる感覚を日々感じています。また同時に、本校の総合的な探究に時間において取り扱うSD

Gsの正式文書名「Transforming our world: 2030 Agenda for Sustainable Development」の冒頭「Transforming our world」にある、自分たちのよりよい社会をつくるために、大きな変化・変革の担い手としての人材育成が教育現場に求められています。そのことは大学入試改革・GIGAスクール構想およびICTの活用・学習指導要領改訂など方向性にも強く表れています。そこで、本校は、より効率的かつ効果的な学習の推進はもちろんのこと、主体的に社会をよりよくするために、目的を持って学び続けるための探究的な学習のために、2、3年生はスマートフォンをはじめとした個人端末、1年生は共通端末としてのChromebookを学習機会の中で活用を始めています。探究的な学習の代表的なプロセスとして、課題設定↓情報収集↓整理分析↓まとめ表現という循環しながら資質能力を向上させるといふものがあります。このようなプロセスにおいて、情

報端末は強力な道具になります。そのようなことから、教科学習の基礎学力という基盤のもと、情報端末をはじめとした道具を使いこなし、生徒たち自身が今・これから抱えていく社会課題を解決していくために必要な資質能力を育むことが学校に求められていると考えています。

一方で、インターネットの社会に問題が多くあることも事実です。炎上・詐欺・誹謗中傷・デジタルタトゥーなど、使い方によっては長く深く大きな問題になることもあります。そのため、テクノロジーは使い手の責任ある行動も必要とされます。

生徒の未来は、多くの終わらない続発する社会課題という荒海を、解決するために多くの人と協力し合いながら船をこぎ続ける時代とも言えます。今の生徒には、社会変化を捉え、情報端末だけでなく、あらゆるテクノロジーを取り入れながら、使い手の倫理観を高め、課題解決のための「Transforming our world」実現するために、学び続け、自分自身を「Transforming」変革し、責任ある行動に移していく人材になってほしいと考えています。

そして、校長一年目ではありませんが、生徒の未来のために、何より私自身が、成長していくために学び続け、自分自身を変革して行くことを決意し、全力で頑張ります。どうぞ、よろしくお願ひいたします。

新任の先生紹介



養護
中野 馨先生



英語科
池田 彩香先生



数学科
足立 一夫先生



理科
大吉 渉先生



芸術科(美術)
古市 敏夫先生



芸術科(音楽)
浅川 茉奈美先生

今しかないこの時を大切に…



父母と教師の会
会長 西岡勇一郎

子どもたちに向けたかのように見えるこのタイトルの言葉は、実は私自身に向けた言葉です。高校生：子どもたちにとっては、義務教育が終わり、生活の自由度が少し増し、とても楽しく夢に溢れた年代かと思えます。

まさに青春真っただ中！
かく言う私自身も約30年前に通ってきた道です。「戻れるものならあの時をもう一度」と常々考えていた年代でもあります。我が子が岩瀬日大高校に入学し、保護者として校舎に足を踏み入れた時、改めて「あつと言間に過ぎゆく高校生活を思う存分楽しませてあげたい！」という思いが湧き上がってきました。子どもたちには、友人関係も勉強も部活も登下校も何もかも、一瞬一瞬を悔いなく全力で駆け抜けて欲しい。そして、彼らのこの日々が少しでも人生の糧になるよう、できうるサポートを精一杯やり遂げてあげたいと思います。

朝、無言で弁当をバッグにしまい、「行ってきます」とつぶやきながら相棒の自転車にまたがり家を出る後ろ姿。

部活を終え、暗い夜道をライトで照らしながら帰宅して「ただいま」の声。

小学生の頃のような明瞭快活な声色では無いものの、各家庭それぞれに、3年間当たり前のようにほぼ毎日繰り返し返されるであろうこの光景…。

地球誕生の歴史から考えれば光速のごとく過ぎゆくこの3年間を、有意義に過ごしていつてもらいたいです。

しかしながら、不幸にもコロナ禍にあり、子どもたちは我々が経験してきたような高校生活とはかけ離れた状況を強いられています。しばらくは続くこのコロナ禍をどう過ごしていくか…。子どもたちの今とこれからを「コロナだから仕方ない」という言葉で片付けるようなことがないようしていきたいものです。

大学生や社会人という大人の一手手前にある「親との会話を拒みがちになるこの時期」に、この共通の話題を切り口として子どもたちとの関わりを深めてみるのはいかがでしょうか？

そして、自らが高校生時代の「何かと自由を求めていたあの頃」の目線に立って子どもたちと会話すると、令和の高校生たちも我々の時代と根本的には何ら変わらない価値観でいることに気がつきます。

そういう意味で考えれば、世界的に負の要素でしかない新型コロナウイルスの感染拡大も、家族の絆を強くするスパイスになっっているのかもしれない。

17年前に産声を上げた長男がいつの間にか高校生となり、自分では「子育て」をしているつもりだが、親年齢17歳として子どもに「親育て」をしてもらっているんだということを日々実感している今日この頃…。

その長男のおかげで、この度「父母と教師の会」の会長職を拝命し、私もめいっっぱい保護者として岩日ライブを満喫させていただこうと思えます。

息子よ、ありがとう!!
そして、保護者の皆様も教職員の皆様も、今しかないこの時を大切に…。

父母と教師の会・後援会・体育後援会総会を開催

5月15日。今年度はYouTubeライブを使ったオンラインでの開催となりましたが多くの会員の皆様に参加していただき、無事議事を進行することができました。

また当日はGoogle Meetを使ったオンラインによる授業参観、クラス懇談会を実施しました。



担任の配信の様子

桜塚祭実施も支部出店を見合わせ

昨年度はコロナ禍で全活動を中止せざるを得ませんでした。今年度も、桜塚祭模擬店の出店を見合わせました。そんな中、来校できない保護者のためにGoogle Meetでの配信を実施しました。保護者からは「見られてよかった」「もっと見たかった」「行けない保護者のために来年もやってほしい」との声を頂きました。



父母と教師の会等役員一覧

役職名	氏名
父母と教師の会会長	西岡勇一郎
後援会会長	保科 晃克
体育後援会会長	青木 匡尚
父母と教師の会監事	佐藤 亜美
副会長・桜川支部長	平 香央里
副会長・下館支部長	佐藤 公彦
副会長・ときわ支部長	松延 克彦
県西支部長	館野 美枝
北つくば支部長	森 正彦
栃木支部長	橋本 愛恵
成人教育委員長	小林 美香
生徒指導委員長	内田 詩織
広報委員長	海老澤綾子

部活動等報告

男子卓球部

インターハイ出場決定

〜三冠で全国へ〜

6月17日から20日に開催された全国高校総体卓球茨城県予選会において、男子卓球部が団体、シングルス、ダブルスで優勝し、三冠の花を添えて全国への切符を獲得しました。本校卓球部の団体出場は通算26回目となります。

部員たちは、県新人大会、関東県予選を制し、全員が絶対に勝つという強い意志を持って練習に励んできました。8月に富山県で開催される北信越高校総体インターハイに向けて猛練習に励んでいます。



男子団体

優勝 鍋島 典(3年5組)

渡邊 直翔(3年1組)

中尾 壮(3年2組)

小口 悠斗(2年2組)

瀧本 亘(2年2組)

海東 桃怜(2年4組)

江田 修二(1年1組)

秋山 優人(1年5組)

男子シングルス

優勝 鍋島 典(3年5組)

第4位 瀧本 亘(2年2組)

男子ダブルス

優勝 鍋島 典(3年5組)

小口 悠斗(2年2組)

顧問の関川先生は「コロナ禍の中、夢の舞台で試合ができることに感謝するとともに、チーム一丸となって無限の可能性を追求し、頂点を目指します」と抱負を語っています。



関東大会ベスト8

男子団体 ベスト8

男子シングルス

ベスト8 鍋島 典(3年5組)

出場 小口 悠斗(2年2組)

出場 瀧本 亘(2年2組)

男子ソフトテニス部

ハイスクールジャパンカップ

茨城県代表出場

佐久間啓輔(3年1組)



関東高等学校県大会

男子団体

ベスト8 佐久間啓輔(3年1組)

野沢 紘希(3年2組)

小島 颯太(3年3組)

木村 創大(3年3組)

菅谷日向登(3年3組)

原田 興介(2年2組)

加倉井 尊(2年5組)

大崎 竣也(1年1組)

男子個人

ベスト8 佐久間啓輔(3年1組)

原田 興介(2年2組)

野沢 紘希(3年2組)

木村 創大(3年3組)

加倉井 尊(2年5組)

大崎 竣也(1年1組)

関東大会ベスト16

男子個人

ベスト16 野沢 紘希(3年2組)

木村 創大(3年3組)

佐久間啓輔(3年1組)

原田 興介(2年2組)

加倉井 尊(2年5組)

大崎 竣也(1年1組)

2回戦敗退

インターハイ県予選準優勝

男子団体

準優勝 佐久間啓輔(3年1組)

野沢 紘希(3年2組)

小島 颯太(3年3組)

木村 創大(3年3組)

菅谷日向登(3年3組)

原田 興介(2年2組)

海老原章登(2年4組)

大崎 竣也(1年1組)



女子ソフトテニス部

関東高等学校県大会

女子団体

第3位

信瀬 茉奈(3年5組)

中野さくら(3年2組)

磯 佑歌(2年1組)

齋藤 綾乃(1年2組)

川田 桃叶(1年3組)

加藤 七菜(1年4組)

野部 円寿(1年4組)

渡邊 空音(1年4組)



男子剣道部

県西地区春季大会



男子団体
第3位 三浦 雅貴(3年1組)
湯澤 陸翔(3年4組)
稲川 晃生(3年2組)
佐藤忠之助(3年3組)
佐藤 徳政(2年2組)

女子剣道部

関東高校剣道大会出場
出場 大窪 妃真(3年5組)
関川 空楽(3年5組)
中島 初稀(3年3組)
鹿内 花(3年4組)
関 千嘉(3年2組)
江田 唯花(2年6組)
木村 真由(2年6組)

インターハイ県予選準優勝
女子団体 準優勝
女子個人
第5位 大窪 妃真(3年5組)



硬式野球部

県大会出場
4月24日ノブルスタジアム
水戸で行われた春季関東地区高等学校野球茨城大会に出場し、水戸商業高校との初戦を8対5で勝利しました。4月30日3回戦で明秀日立高校に敗退しました。



出場

村本 倅聖(2年3組)
海老澤 侑真(3年5組)
野中 瑞斗(2年6組)
森 光輝(3年5組)
小林 匠(2年6組)
大里 紋渡(3年1組)
秋田 修生(2年5組)
鈴木 大成(3年2組)
舟橋 史翔(3年1組)
寺田 陸(3年5組)
大山 祐汰(2年6組)

サッカー部

県大会出場

6月3日全国高校総体サッカー競技茨城県予選兼高校総体兼県民総体サッカー競技大会が行われました。5年ぶりの県大会への出場は残念ながら延長戦の末、2対4で負けてしまいました。願っています。

木村 海斗(2年6組)
塚田 隼太(3年3組)
小林 隼(2年3組)
永井 大惺(1年3組)
望月 祥(1年2組)
塩幡 昌史(3年2組)
篠原 春音(3年4組)
小林 恵大(1年4組)
内田 大遥(3年5組)



出場

鈴木 翔太(3年2組)
増淵 大吾(3年1組)

バドミントン部

インターハイ県西地区予選優勝

5月18日・19日・22日、女子団体、女子ダブルス、女子シングルスにおいて優勝しました。

女子団体学校対抗戦

優勝 平 れな(3年4組)
菊池 真由(3年4組)

佐藤凜汰朗(2年1組)
岩淵 智史(3年4組)
羽田 航瑛(3年3組)
増山 裕真(3年2組)
鈴木孝太郎(3年1組)
吉川 佑舞(3年3組)
大木 渉陸(3年2組)
浅野 陸玖(2年5組)
田山 旺亮(3年1組)
西岡 朋慈(2年6組)
大塚 龍正(2年2組)
武内 咲陽(1年2組)
小仁所隼人(2年3組)
小野瀬創士(3年4組)
友部月輝矢(3年3組)
植木 智哉(3年1組)
田上 琉翔(2年2組)
倉持 歩叶(2年5組)
染谷 陽樹(1年6組)
向田 光辰(3年1組)
大熊 龍輝(3年3組)
永木 洸太郎(3年2組)
片岡 歩夢(3年2組)
小野 凌輔(3年1組)
宮田 直樹(2年5組)
初見 樹利(1年3組)
吉田 源規(2年5組)
稲葉 尚悟(1年5組)

ダブルス

優勝 井関 絢未(2年4組)
木村 円香(2年5組)
谷畑 妃音(2年7組)
市川 沙耶(2年7組)
菅山 彩帆(2年3組)
清水 陽菜(2年1組)

第3位

井関 絢未(2年4組)
木村 円香(2年5組)
谷畑 妃音(2年7組)
市川 沙耶(2年7組)
菅山 彩帆(2年3組)
清水 陽菜(2年1組)

ベスト16

菅山 陽菜(2年1組)

シングル

優勝 井関 絢未(2年4組)
ベスト8 平 れな(3年4組)
谷畑 妃音(2年7組)
木村 円香(2年5組)



インターハイ県予選
女子団体学校対抗戦 第5位

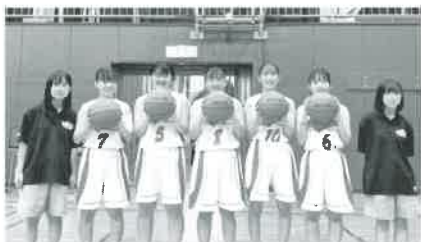
男子バスケットボール部

5月27日、インターハイ地区予選に出場しました。



女子バスケットボール部

5月26日、6年ぶりに再び結成された女子バスケットボール部が再結成後初勝利しました。



ライフル射撃部

5月11日、関東高等学校ライフル射撃競技大会茨城県予選会に出場しました。

陸上競技部

県大会出場

男子4×100mリレー

出場 内田 陽(3年1組)

大山 琉喜(3年1組)

阿部 裕翔(2年2組)

小林 泰基(2年7組)

蓬田 大希(3年3組)

澤 勇気(1年4組)

女子800m

出場 小野珠里奈(2年6組)

女子砲丸投

出場 園部 理桜(2年6組)

チアリーディング部

日々の練習の成果を桜瑛祭でステージ発表しました。



女子硬式野球部



第22回全国高等学校女子硬式野球選抜大会に、全国高等学校連合「丹波」の一員として出場しました。ヴィーナスリーグでは、初戦作新学院高校と1対1で引き分け、2戦目敗退。また、7月25日に第25回全国高等学校女子硬式野球選手権大会で東海大学付属静岡翔洋高等学校と対戦します。

バレーボール愛好会

新入生を迎えて、毎週木曜日元気に活動しています。

吹奏楽部

桜瑛祭で演奏を披露しました。

ソーシャルメディア部



全国総文祭出場決定



放送部門
3年1組
緒方 桃子

コロナ禍でも現地で開催される喜びを噛み締めながら、自分らしいアナウンスができるように全力で挑みます。

新聞部門



3年2組
飯山 粹衣

和歌山ならではの豊かな自然や歴史的・文化的資産を通して新聞という共通のメディアに携わる全国の仲間と交流し、今何を見つめ、何を伝えようとしているのか共有し合い、更なる技術の向上を目指してきます！

全国大会出場決定



新聞部門
2年7組
河田 怜子

6月8日に開催された茨城県高等学校放送コンテスト兼NHK杯全国高校放送コンテスト茨城県予選において、朗読部門第3位に入賞し、全国大会への出場が決定しました。本校初の快挙です。

ボランティア部



1年2組
高野 晴香

下館青年会議所主催の「Let's農業! 農業のお金の仕組み教えます」に参加してきました。農業のセミナーを受けたり、農トレカードゲームを行ったりし、農業の知識と経営を学ぶことができました。地域の方とたくさんコミュニケーションを図

り、貴重な体験ができました。



美術部

桜蔭祭に出展しました。現在は県の総合文化祭出展を目指して創作活動に励んでいます。



「驕慢」諸井 楓(3年1組)

文芸部

全国総文祭出場決定

茨城県高等学校文芸部第二回中央大会俳句の部最優秀賞を受賞し、全国への切符を獲得しました。作品を紹介します。

井戸水ときゅうり輝く祖母の家



2年7組 藤沼きらら

祖母の家の畑で採れたきゅうりを題材にして詠みました。採れたきゅうりを水に浸している場面を切り取ったのですが、「浸す」ではなく、きゅうりのみずみずしさを表現するために「井戸水」を用いました。推敲を重ねて丁寧な作った句なので、最優秀賞をいただき嬉しいのです。〈顧問評〉おばあさんが丹精込めて作った採れたてのきゅうりを冷やして食べるのを楽しみにしている気持ちに伝わってきます。実際には井戸水ではないのですが、きゅうりの、みずみずしく冷えた様子を効果的に表現することができています。さらさらの作ったたくさんの句の中から選んだ時は、シンプルな句だけに、最優秀賞をいただけると思わなかったのですが、素朴な体験の中に感動がある一句です。

関東文芸大会出場決定

8月に第22回関東地区高校生文芸大会(千葉大会)に出場します。作品を紹介します。縁日の青だけそろえたルービック君は手渡す未完のままに



1年2組 須藤 讚良

今回初めてきちんと考えて短歌を作りました。感じたことを歌にするのは難しかったですが、友達からルービックキューブを渡され、そのままにするわけにいかず戸惑った時のことを歌にしました。ルービックキューブを縁日のものにしてストーリーを持たせました。また「戸惑う」から推敲して未完成のままにすることにしました。その方が戸惑った気持ちが表現できると思いました。

〈顧問評〉俳句や短歌を意欲的に詠んで挑戦していく姿勢がとても良いと思います。課題である「青」で青春の瞬間を切り取っています。縁日と君と未完成のルービックキューブというワードが、若い2人の未熟な恋愛を表しているようでどきどきさせられます。

総合科学部



桜蔭祭でロケットの打ち上げを披露しました。また、学校近くの川に魚を捕りに行き、桜蔭祭で「小さな水族館」を出展しました。

合唱愛好会

感染症拡大防止のため活動を休止していますが、7月からの活動再開を検討しています。

パソコン愛好会

桜蔭祭ではeスポーツ観戦、解説を行いました。またエンディングムービーの制作を行い閉会式で披露しました。2500枚の写真撮影とクラスに分ける作業などを行いました。

ESS愛好会

毎週火曜日と金曜日の昼休みに活動しています。



軽音楽愛好会

文化祭でステージ発表し、盛り上がりまりました。



ホームプロジェクト愛好会

毎週水曜日に活動しています。6月9日は「オレオチーズケーキ」を作りました。暑い日のデザートとして冷やして食べるのがおいしいです。



写真甲子園2021

木村臣之介(3年1組)・田中陸翔(3年2組)・石島彩羽(3年2組)の3名がチームを組み、写真甲子園2021において、全479校、北関東ブロック52校中の12校に選ばれました。



TOPIC

吉田邦孝校長就任



岩日で理科の教員として24年。総合科学部をモデルロケットの大会で優勝に導き、教育ICT環境を充実させて学び方改革を推進し、常に全力でチャレンジし続けてきた「邦先生」。エネルギーシユな48歳の校長先生が拓くこれからの岩日に注目してください。

入学式

4月7日、192名の新入生を迎え、保護者の見守る中、入学式を挙行了しました。



新入生 誓いの言葉

桜井 夏来(1年6組)



歓迎の言葉
生徒会長

上野 佳穂(3年2組)

桜川市の避難場所に

今年度から、桜川市内におい

て災害が発生した場合など、桜川市からの協力要請に基づき、近隣の方々が本校の体育館及び駐車場を避難場所等として利用できることになりました。防災意識を高く持ち、地域への貢献ができるような取り組みをしていきます。

始業式

4月9日、全校生徒570名が一堂に会し始業式・着任式・対面式を行いました。



新入生 誓いの言葉

平松光士郎(1年6組)

インターネット安全教室

5月9日、茨城県警少年サポートセンターの高橋信人氏を講師にお招きし、1年生を対象にインターネットに関連したトラブルなど具体的に紹介していただきました。

1年生12Chromebook

5月29日、1年生に、一人一台のPC端末が配布されました。生徒たちの主体的・協働的な学び、時代に合わせた学び方を実現していきます。

岩日ツイッター開設

5月29日、ツイッターが開設されました。岩日ホームページからご覧下さい。また以前から開設されていた岩日図書館のツイッターの更新もこちらでお知らせしています。多くの皆様のフォローをお願いします。

桜瑛祭実施

みんなに感謝

桜瑛祭実行委員長

3年5組 石嶋

6月19日・20日に桜瑛祭が開催されました。開催にあたっては感染症の対策のためにいろいろ試行錯誤しました。飲食店ができなかったり、一般公開・支部の出店がなかったりしたのは残念でしたが、私たちの力でできる限りのことができてよかったです。巨大モザイクアートや閉会式のYOUTUBEライブなど、初めてのことで戸惑いしましたが成功することができました。全校生徒の皆さん、先生方に感謝しています。



パンフレット表紙

生徒会から依頼を受けてパンフレットの表紙をデザインしてくれました。



3年4組

矢澤 寛典

ステージ発表



2年7組 谷畑 妃音

私は歌を唄うことが小さな頃から大好きで、日本大衆音楽祭を始めさまざまな大会に出場してきました。そしてコロナ禍という大変な状況の中、私には何ができるのか考えたときに、桜瑛祭で歌を唄い、一人でも多くの人に感動を届けたいと思いました。リハーサルではたくさん先生方が協力してくださり準備を進めることができ、ステージでは心を込めて唄うことができました。先生方、応援してくれた友人、家族、本当にありがとうございました。これからも音楽を楽しみたい皆さんの人を勇気づけていきたいと思っています。

令和2年度卒業生進路先区分及び令和3年度入試合格状況

1. 進路先区分 卒業生172名(日大・総進コース147名, 国立・特進コース25名)

進路区分	人数	進路区分	人数	進路区分	人数
日本大学(短大含)	103	国公立大学等	4	他私立四年制大学	37
他私立短期大学等	2	専門学校	22	就職・その他	4

2. 合格状況

日本大学 現役126名, 既卒0名 合計126名

学部名	人数	学部名	人数	学部名	人数
法学部	7	国際関係学部	3	松戸歯学部	1
文理学部	10	危機管理学部	3	生物資源科学部	28
経済学部	6	理工学部	8	薬学部	1
商学部	8	生産工学部	16	短期大学部	7
芸術学部	2	工学部	24	通信教育部	1
				附属専門学校	1

国公立大学等 現役9名, 既卒0名 合計9名

大学名	人数	大学名	人数	大学名	人数
会津大学	1	茨城大学	1	高崎経済大学	1
青森公立大学	1	群馬県立女子大学	1	前橋工科大学	1
秋田県立大学	3				

私立大学 現役60名, 既卒3名 合計63名

大学名	人数	大学名	人数	大学名	人数
青山学院大学	1	成城大学	2	東京薬科大学	1
桜美林大学	1	聖徳大学	3	東邦大学	1
神奈川大学	1	高崎健康福祉大学	1	東洋大学	3
共栄大学	1	高千穂大学	1	常盤大学	3
国際医療福祉大学	1	千葉商科大学	2	獨協医科大学	1
埼玉工業大学	3	千葉工業大学	6	二松学舎大学	1
作新学院大学	1	鶴見大学	1	日本経済大学	1
秀明大学	1	帝京大学	5	日本体育大学	1
淑徳大学	1	東海大学	3	白鷗大学	3
城西大学	2	東京経済大学	1	文教大学	2
城西国際大学	1	東京福祉大学	1	立正大学	1
駿河台大学	1	東京未来大学	3	流通経済大学	1

私立短期大学 現役2名, 既卒0名 合計2名

短期大学名	人数	短期大学名	人数
聖徳大学短期大学部	1	新潟職業能力開発短期大学校	1

専門学校等 現役22名, 既卒0名 合計22名

学校名	人数	学校名	人数	学校名	人数
茨城県立中央看護専門学校	1	晃陽看護栄養専門学校	1	栃木県立産業技術専門学校	2
茨城県立つくば看護専門学校	1	国際ティビシィ小山看護専門学校	1	日産栃木自動車大学校	1
茨城県結城看護専門学校	1	筑波研究学園専門学校	1	HAL東京	1
宇都宮アート&スポーツ専門学校	1	つくばビジネスカレッジ専門学校	1	文化服装学院	1
宇都宮ビジネス電子専門学校	2	東京医科大学霞ヶ浦看護専門学校	1	マロニエ医療福祉専門学校	1
専門学校EIKA International College	1	東京ベルエポック美容専門学校	1	水戸ビューティカレッジ	1
大原簿記情報ビジネス医療専門学校宇都宮校	1	東京ビューティーアート専門学校	1		

就職・その他 現役4名, 既卒3名 合計7名



編集後記

「桜真」52号をお届けします。
 新年度を迎え、未だ新型コロナウイルスが世界的に流行し、日本でも各地で感染者が出ている中、新たな変異株ウイルスも出現し、感染の拡大を防ぐ環境の中で生徒たちが不安もなく学校生活を送ることができているのも環境整備や検温など、校長先生をはじめ諸先生方の日々の対応のおかげだと思っております。心から感謝申し上げます。

去る4月には令和3年度入学式が無事に執り行われることができました。また、行事の中止や部活動の制限なども多い中、桜瑛祭が行われ、お揃いのクラストシャツを作り、準備から一丸となって盛り上がった一番の思い出になったことと思います。日本では7月開催予定の東京五輪・パラリンピックが少しずつ盛り上がりを見せ、身近にも明るい光が見えてきました。

最後に退任されました各役員の皆様ありがとうございました。そして新役員の皆様1年間よろしくお願ひ致します。発行にあたりご寄稿いただきました皆様ありがとうございました。

広報委員長 海老澤綾子
 (県西支部)